

# 平成23年度 総括資料

	庶務部	教務部	指導部	進路指導部	情報管理部	3 学 年
目標	ゴミの削減と消耗品、光熱費の削減を事務とともに取り組む。	授業改善に取り組み、魅力的な授業作りの推進をし、わかる授業を実現する。そして、家庭学習の習慣を定着させる。	学校生活のルールを守らせることで規律正しい生徒に育てる。	Catch Your Dream ～努力する生徒を育てサポートする～	学事システムの効率的な運用と広報活動の充実	卒業時に「神港に入学して良かった」と生徒、保護者に感じてもらえるような努力工夫をする。
具体的な指針・方法 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の電気節電喚起</li> <li>・ゴミの削減</li> <li>・印刷用紙の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を公開し、授業の工夫・改善を進める。</li> <li>・家庭での学習時間の習慣を身につけさせる。</li> <li>・各科・各コースにおける特色ある教育課程の編成を進める。</li> <li>・授業環境の改善を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を守る。(遅刻をなくす)</li> <li>・正しく制服を着こなす。</li> </ul>	1年から3年生までの進路計画のもとに、行事等を通じて卒業後の進路を含めた将来について考えさせ、実現に向けて努力することを学ばせる	学事サーバの移設 Webページのタイムリーな更新	1 個々の進路実現が達成できるように努力工夫する。 ①欠席・遅刻・早退を無くさせると共に、やむを得ず、欠席・遅刻をする場合は連絡を徹底させる。 ②授業の重要性を伝え、家庭学習の習慣を徹底させ、進路実現に向けて最大限の努力をさせる。
検証方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の工夫や改善策、家庭学習習慣をつけさせることなどを教科会や、全体研修会で協議できるようにする。</li> <li>・生徒に対して、授業アンケートを実施し、分析し、改善の資料とできるようにする。アンケート内容の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻統計</li> <li>・教員、生徒対象アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望の進路が実現できたか。</li> <li>※各進学先の合格・就職の内定数</li> </ul>	実現の度合い	①出席統計を比較、検討する。 ②就職状況、進学状況を比較、検討する。
具体的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目をKEMSと連動させて数値化</li> <li>・校内の電気のスイッチに節電喚起のシールを張る</li> <li>・職員会議等で職員への呼びかけ、光熱費の削減、プリント両面刷り等</li> <li>・ゴミ回収時でのゴミの圧縮、ゴミの分別等の生徒への呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間の実施(授業改善)</li> <li>・授業アンケートの実施(わかる授業の推進)</li> <li>・オープンハイ、CD見学会、D科体験授業の実施(中高連携の推進)</li> <li>・中学校訪問、中学校進路講話の実施(中高連携の推進)</li> <li>・教育課程の改編(新学習指導要領への対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼、学年集会などで、遅刻・制服の着こなしなどについて機会あるごとに指導する。</li> <li>・授業開始時や校内で、制服の着こなしについて常に指導し意識させる。</li> <li>・登校遅刻、授業遅刻回数及び服装指導(カウント指導回数)を集計し反省文指導をする。</li> </ul>	(進路指導) ◎1年生 進路ガイダンス・進路講演会 ◎2年生 進路ガイダンス・進路講演会 ◎3年生 進学フェスタ・ガイダンス 就職模試・指導の実施(学習指導) ・模試指導、模試実施 ・マナトレ実施(1学年) ・スタディサポート(全学年) ・公務員試験対策セミナーの実施(保護者向) ・各情報誌配布 ・学費説明会の実施 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師1名に対し、PC1台体制に整備する</li> <li>・新規サーバを導入し、環境を構築する</li> <li>・Webページを月1回以上の更新を目指す</li> </ul>	①担任が出席簿の整理などを通してクラスの状況把握をする。 ②公開フォルダーに受検入力シートを作成して、担任が自らのクラスの受検状況を入力する。
取組への評価	統計数値上は良い結果になりつつあるようである	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間の実施(授業改善に向けた点検評価につながった)</li> <li>・授業アンケート(わかる授業の推進につながった)</li> <li>・オープンハイ、CD見学会、D科体験授業、中学校訪問、中学校進路講話(中高連携の伸長につながった)</li> <li>・教育課程の改編(現行教育課程の問題点を改訂し、新学習指導要領に対応した教育課程が編成できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻回数は、減少割合が頭打ち状態で、一部の限られた者が遅刻を繰り返している。</li> <li>・制服の着こなしについては、登校時は改善されているが、校内(教室)に入るとたちまちだらしなくなっているように思われる。</li> <li>・遅刻回数も制服の着こなしもより効果的な指導を徹底して行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望の進路が実現できたか。</li> <li>※各進学先の合格者数</li> <li>※就職内定者数 80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間講師以外の教師に、PC1台を整備できた</li> <li>・円滑にサーバの移行が実施できた</li> <li>・Webページに、56件の最新情報をタイムリーに公開することができた</li> <li>・15万件以上のアクセスをいただいた(2年間)</li> </ul>	①概ね、できた。 ②担任が公開フォルダー(PW付き)に入力することにより、学年全体の状況把握が容易になった。
次年度にむけた課題	皆が気持ちよく継続できる工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間(更なる活性化を図り、実施時期の調整が必要)</li> <li>・授業アンケート(個々の科目で実施できるアンケート調査方法及び内容項目の研究が必要)</li> <li>・オープンハイ等の実施(中高連携など開かれた学校にするためのさらなる工夫が必要)</li> <li>・教育課程の改編(新学習指導要領の本格実施に向けた、各科目の教材研究・開発・運用法の研究の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻を繰り返す一部の限られた生徒に対する効果的な指導を検討する。</li> <li>・制服の着こなしについては、教員による校内(HR、授業など)での効果的な指導を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスの検討</li> <li>・進路指導部の再編(各学年、部署との検討)</li> <li>・模試の在り方</li> <li>・教師全員による企業開拓</li> <li>・進路情報の共有</li> <li>・学年による学年のための進路指導の模索</li> <li>・進路希望未決定者をなくす</li> </ul>	特になし	特になし。

# 平成23年度 総括資料

	2 学 年	1 学 年	商 業 科	情 報 処 理 科	保 健 部	人 権 教 育 推 進 委 員 会
目標	3年後、「神港に来て良かった」と思ってもらえるように、日々指導する。	神港生としての誇りと自覚を培う	商業科で学ぶ者としてのルールやマナーを身に付けさせ、学習環境を整え、進級あるいは進路の実現を目指す	1年次から情報処理の知識・技術に関する専門教育を行い、より高度な情報処理や商業に関する資格・検定の取得を奨励し、ビジネスの教養を身につけた情報処理技術者の育成を目標とする。	心身ともに健康的な高校生活を送れるよう、日々の健康管理に取り組む。	学業に専念できる条件整備としての修学保障に取り組む。就学保障に取り組む。
具体的な指針・方法 重点目標	行事（特に修学旅行）を成功させるよう努力工夫する。 ・集団行動に向けて、ルールやマナーを守り、係活動や班行動における責任感を伝える。 ・行事を成功させるためには、授業など日頃の学習活動も重要であることを生徒に伝える。	神港に慣れる。 ルールを守る。 授業を大切にする。 家庭学習を大切にする。 「神港に来て良かった」と思ってもらえるように、日々指導する。	・授業の充実 ・検定合格率の向上 ・外部教育機関との連携	・Business Skill（オフィスやネットワークの活用能力の育成） ・Professional Skill（ﾌﾞﾗﾝｼﾝｸﾞ能力の育成） ・Skillの証明（資格・検定取得の奨励）	・各種健康診断の円滑な実施と事後指導。 ・健康相談の実施 ・行事ごとの健康管理	授業料実質無償化が2年目を迎え、各学年20%以上の奨学金支給率を実現する。
検証方法	平常授業や修学旅行等学校行事を通じて、ルールやマナーを守る。	保護者会等を通じて生徒の学校生活を伝え、また、家庭での学習環境の把握に努める。	・検定合格データの活用 ・会議等での積極的な情報交換 ・授業づくり ・課題研究発表会 ・進路結果	・授業 ・資格・検定の結果データの活用 ・企業留学の成果 ・課題研究の成果 ・勉強合宿への参加状況と成果 ・インターンシップの成果 ・進路状況	・健康上注意を要する生徒の一覧を作成し、全職員の共通理解に努める。 ・各学年、担任、部活動顧問など関係者との情報交換。	年度末に就学保障のまとめを作成し、各学年の奨学金適用率を確認する。
具体的な取組み	・時間を守る ・約束を守る ・命を守る を生徒に示し、遵守するよう指導する。	学年通信での啓蒙。 学年行事の手直し。 スタディサポートに加えて、まなトシの取り組み。 定期考査に向けての計画表提出など。	・甲南高校との連携事業 ・実習室におけるマナーの徹底 ・授業の開始時間厳守 ・挨拶や返事の励行 ・服装指導 ・授業中の居眠りの防止 ・進度が遅れている生徒への個別対応 ・検定前に希望する生徒へ補習実施	・特色あるカリキュラムの実施 ・企業留学の実施 ・経済産業省情報処理技術者試験の午前免除試験の実施 ・課題研究発表会の実施 ・勉強合宿の実施 ・インターンシップの実施 ・外部機関との連携 ・生徒指導（マナーやモラル指導）	・保健室来者の健康状態の把握を行う。一人ひとりの話をよく聞くこと。 ・疾患を持つ生徒の健康状態の把握と関係機関との連携。 ・担任、関係者との情報共有をその都度行う。必要に応じて家庭連絡。 ・保健だよりの発行により、自己の健康管理への啓蒙を促す。 ・精神科医による職員研修。	各家庭・学年との連絡を密にし、でき得る限りの奨学金の適用を行う。
取組への評価	昨年度に比べ授業態度が良くなった。修学旅行を通じていろいろな意味で成長できた。	まなトシの計画がずさん。月一の発行に加え、学級通信を発行して行事やテスト前にも啓蒙に取り組んだクラスもあった。学年当初の学習への取り組みは、概ねできた。バスを利用して校外学習を行った。	・教員や授業をする学年により、ばらつき感があった ・多様化していく生徒への対応力をつけていく必要がある ・学校運営システムの硬直化と多忙化、あるいは校務運営委員に商業科教員が多く、生徒に向き合う時間が圧倒的に不足	・担当教員の固定化による仕事の偏り ・生徒指導（マナーやモラル指導）の低下 ・勉強合宿の実施計画未定	・健康上注意を要する生徒の管理表など必要書類が適切に提出された。担任の配慮と協力で、生徒は行事における必要な準備ができていた。 ・非常勤講師の配当があるため、生徒対応は、助かった。まだまだゆとりのないことや、把握しにくい状態もあるが。 ・クラスの保健委員による健康診断の補助(検尿)、ポスター・保健だよりの作成等、活発な保健委員会活動ができていた。	ほぼ例年通りの奨学金適用は実現できた。
次年度にむけた課題	神港に来て良かったと思える ・進路指導 ・さらなる思い出づくり	交通費や、まなトシなど出費がかさみ、単年度決歳で赤字は出ていないが、次年度への繰越金が少ない。 新しい取り組みには、事務と連絡を取り費用計画が必要。 まなトシ以降の継続的な取り組みが課題。 ソーラーコースは、学年の取り組みではないので、早朝補習を学年任せにせずに国語科・英語科など実施科目の教師の応援が必要。	・商業教育を通じて態度教育を行う ・教員の意識を極力一体化 ・外部連携事業の充実と継続性のあるものへと発展 ・生徒に向き合う時間の確保 ・高い意識を持った生徒を伸ばすためのシステム作り	・担当教員の配置 ・勉強合宿の再開 ・生徒指導（マナーやモラル指導）	・学校カウンセラーとの連携や、関係者との連携に努め、生徒理解を深めて、より良い対応につなげたい。	早め早めの連絡を図り、困窮状況ができるだけ短くなるようさらに努力する。